

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第39週(令和7年9月22日～令和7年9月28日)

<発生動向>

第39週は、日本紅斑熱の報告が2件ありました。日本紅斑熱は、日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに咬まれることで感染します。発熱、発疹、および刺し口が主要な三兆候とされ、抗菌薬による治療が行われます。草むら等に入る際は、ダニ忌避剤の使用や肌の露出を避けるといった対策を行いましょう。

百日咳の報告が9件ありました。百日咳はワクチン接種が有効ですが、接種後数年経過すると免疫が減衰し、発病する方がいます。咳が続くときは医療機関を受診しましょう。また、乳児や妊婦に感染させないよう、家庭内でも手洗いや咳エチケットなどの感染対策を心がけましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	3	133	10	559	183	10,263
腸管出血性大腸菌感染症	1	45	7	215	138	2,962
日本紅斑熱	2	3	2	12	22	463
急性脳炎	1	8	2	30	4	392
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1	9	1	33	6	610
梅毒	2	90	14	561	167	10,166
百日咳	9	380	38	2,879	1,168	78,009

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	122	5.30	10.35	736	6.03	26,631	6.93
インフルエンザ	57	2.48	2.70	189	1.55	3,073	0.80
急性呼吸器感染症	1484	64.52	67.43	6,143	50.35	203,282	53.05
RSウイルス感染症	48	3.69	3.69	205	2.93	3,834	1.64
咽頭結膜熱	4	0.31	0.38	35	0.50	651	0.28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	1.77	3.15	163	2.33	3,399	1.45
感染性胃腸炎	108	8.31	6.62	353	5.04	9,123	3.90
水痘	1	0.08	0.15	17	0.24	465	0.20
手足口病	7	0.54	0.08	31	0.44	1,068	0.46
伝染性紅斑	45	3.46	3.15	158	2.26	2,889	1.23
突発性発しん	9	0.69	0.23	27	0.39	671	0.29
ヘルパンギーナ	0	0.00	0.08	9	0.13	1,631	0.70
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.00	2	0.03	96	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	5	0.01
流行性角結膜炎	3	0.50	0.17	39	1.50	755	1.08
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	4	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	1	0.07	25	0.05
マイコプラズマ肺炎	5	2.50	2.00	10	0.67	533	1.11
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	4	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	0	0.00	5	0.01

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。

○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。